

EVENT

ルーマニアホストタウン イベント情報

PICK UP!!

知ってみルーマニア! 第1弾

〜ルーマニアワインと食文化、美しい景観と共に〜

10月28日(日)〜11月1日(木) @武蔵野プレイス

ルーマニアの美しい景観の写真展と、ユーロアジアトレーディング株式会社 ダニエル氏によるミニ講座「ルーマニアワインの魅力と食文化」を武蔵野プレイス1Fギャラリーで実施します。あなただけルーマニアを感じてみませんか?



ミニ講座

ルーマニアワインの魅力と食文化

日時 10月28日(日) 16:00〜17:00

料金 無料〈先着40名〉 試飲あり

※パネル展示は期間中、1Fギャラリーで開催(無料・予約不要)

※期間中、カフェ・フェルマータにて、ルーマニアワイン試飲セットを特別販売します(期間限定)。



《事前申込方法》

武蔵野市交流事業課まで、下記をご連絡ください。

- ① お名前
- ② 住所
- ③ 電話番号

電話 0422-601806

メール SEC-KORYU@city.musashino.lg.jp

イベント出店

- 11/3(土) むさしの国際交流まつり2018
11:00〜16:30 《会場》武蔵境北口駅前イングビル
- 11/11(日) 第38回むさしの青空市
10:00〜15:00 《会場》むさしの市民公園

ホストタウンのブースでは、ルーマニアの紹介パネル等の展示を行う予定です。また、ルーマニアのパラアスリートを支援するための募金にご協力いただいた方にオリジナルホストタウングッズをプレゼントします。

知ってみルーマニア! 第2弾

日本武蔵野センター報告会 2018ルーマニア・ブラショフ市への文化交流市民団派遣報告会

日本武蔵野センターに勤務している木村職員からの年次報告と、ブラショフ市へ派遣された文化交流市民団の報告会を実施します。

日時 12月7日(金) 19:00〜

会場 スイグホール レインボーサロン

申込不要。参加無料。ぜひ皆様お気軽にお越しください。

JOIN&SUPPORT

ホストタウン事業に参加・協力しよう!

ルーマニアホストタウンムサシノ サポーター登録

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ホストタウンとしてルーマニアを応援し、一緒に地域を盛り上げる仲間を募集しています。文化やスポーツを通じた感動や交流と一緒に体験しませんか? サポーターに登録すると、各種イベント情報が登録したメールアドレスに届きます。

サポーター登録は
コチラから



夢に挑む 戦う パラ選手たちへエールを ルーマニア パラアスリート募金

各国のパラリンピック組織委員会はオリンピックと比べ資金が十分とは言えない状況です。ルーマニアも例外ではなく、海外での十分な練習をするためにはみなさんの支援が必要です。2020年をみすえ、パラアスリートの強化練習を武蔵野市で行ってもらうため、この募金を来日費用の一部に役立てます。

サポーター募集、募金方法については、武蔵野市交流事業課までご連絡ください。

武蔵野市交流事業課内 TEL:0422-601806
ルーマニアホストタウン推進実行委員会事務局 Mail:SEC-KORYU@city.musashino.lg.jp

ルーマニアホストタウンムサシノ
ROMANIA X MUSASHINO



モモイロペリカンは
ルーマニアの国鳥です

〜ルーマニア ホストタウン ムサシノ通信〜

vol.1

モモイロペリカン通信

ブラショフ日本武蔵野センター研修生 サンドラさんが来日しました

武蔵野ブラショフ市民の会が招聘する研修生は20人目をかぞえ、今年はポバ・ディアナ・サンドラさん(17歳)が、7月6日(金)〜8月3日(金)まで滞在しました。



サンドラさんは日本武蔵野センターで日本語を勉強し始めてわずか2年とのことでしたが、驚くほど流暢な日本語を話し、多くの人との交流を楽しんでいました。

来日中は、「武蔵野ブラショフ市民の会」会員やルーマニアホストタウンサポーターの家庭でのホームステイ、成蹊大学ルーマニア交流プロジェクトの学生スタッフとの交流を通して、日本文化を学び、またルーマニア文化を発信する等、お互いを知り、理解し合う貴重な経験となりました。

(写真:松下玲子市長へ挨拶)

サンドラさんより、感謝のこぼれ

私は一昨年からルーマニアの武蔵野センターで日本語を勉強しています。センターの七夕祭で、毎年日本へ行けるように、短冊に書いてお願いしていました。

そして今年、願いがかない、研修生として日本で1か月過ごすことができました。日本の文化を感じられる場所をいくつか訪れ、いろいろと勉強することができました。日本には新幹線やロボットなど非常に高度な技術がありますが、伝統や文化もしっかり守っていることがすごく良いことだと思いました。とても早い1か月でしたが、楽しい時間を過ごしながら、将来の助けになるすばらしい経験でした。

まったく異なる国に適応すること、知らない人に話しかけることができるようになりました。この機会をくれたみなさんに感謝するとともに、もう一度日本に行きたいと思っています。

Popa Diana Sandra / ポバ・ディアナ・サンドラ

活動報告



サンドラさんは鎌倉で御朱印を集めたり、抹茶アイスや手巻き寿司を食べたり、本当に日本が好きなんだという印象が強いです。私達もルーマニアの文化について沢山教えて頂き、貴重な2日間を過ごすことが出来ました。



成蹊大学ルーマニア交流プロジェクト
学生スタッフ 加藤沙彩さん

「ルーマニアってどんな国？」

ヨーロッパに秘められた伝統の国

ルーマニアはヨーロッパ南東部、バルカン半島に位置する国で、カルパティア山脈に囲まれた森林地帯のトランシルヴァニア地方で知られています。

中世の雰囲気漂うシギショアやブラショフ市やシビウ市をはじめ、要塞教会や城が数多く残り、中でも崖の上にそびえるブラン城は、ドラキュラ伝説とつながりがあると言われる有名な場所です。首都ブカレストは「バルカンの小パリ」と呼ばれ、旧市街とモダンな感覚をあわせ持ち、若者と活気にあふれています。



国名	ルーマニア (România (ロムニア))
面積	23.8万km ² (本州とはほぼ同じ)
人口	1,976万人
公用語	ルーマニア語
通貨	レイ (RON)
宗教	ルーマニア正教 (87%) / カトリック (7%)
民族	ルーマニア人 (84%) / ハンガリー人 (6%) など

歴史が息づくルーマニアには、ローマ帝国時代の岩の遺跡や、ブコヴィナ地方の精緻な壁画で有名な5つの修道院など、数多くの世界文化遺産があることも知られています。また自然に恵まれた国で、自然世界遺産のドナウデルタでは、広大な湿地帯に野鳥が集まる雄大な景観を楽しむことができます。そして国家事業としてアンチエイジングの研究がなされているルーマニアには、なんと若返りの薬があり薬局で買うこともできます。

気さくで情に厚いルーマニアの人々、美味しいワインや煮込み料理、民族舞踊や可愛らしいルーマニア刺繍など、まだまだ知られざる魅力が満載の国です。

武蔵野市とルーマニアのこれまでの交流って？



武蔵野市とルーマニアの交流は、ブラショフ市に拠点を置く国立交響楽団を支援し、1992年招聘コンサートを開催したことからスタートしました。当時ボランティアとして公演を支援した市民によって発足した「**武蔵野ブラショフ市民の会**」は、日本語研修生を毎年受入れており、今年で20人目となりました。1998年にはブラショフ市内に「**日本武蔵野センター**」ができ、日本語教室や市民交流を通して日本とルーマニアの交流のかけ橋としての役割を果たしています。

ホストタウンって、何するの？

「ホストタウン」は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、相手国と様々な交流を図り、お互いに応援し合いながら大会を共に盛り上げていくことを目的として、国の登録を受けた自治体です。武蔵野市は、ルーマニアの「ホストタウン」の取組を通して、様々な出会いや感動を生み出し、互いを尊重し合える社会を目指します。



NEWS ホストタウンニュース

■ 2018ルーマニア・ブラショフ市への文化交流市民団の結団式を実施

今年9月17日(月)～23日(日)にブラショフ市を訪問する市民団30名が、8月5日(日)に結団式を実施しました。この市民団は、ブラショフ市民に日本文化の発信、武蔵野市の紹介等を行いながら、お互いの理解を深めることを目的とし、合唱団と文化交流団の2つのグループに分かれて活動する予定です。結団式では、曾我大介団長のルーマニア解説に団員の皆さんの期待が益々高まっていく様子がうかがえました。



歴史と自然の国 ルーマニア



ドラキュラのモデルは、ルーマニアにあり！

ヴラド三世は1456年・1462年にワラキア公国王として在位した、ドラキュラ伝説のモデルになった人物です。「ドラキュラ」の名は、父親がローマ帝国皇帝から授かった竜が彫られたメダルに由来します。「ドラキュラ(竜の子)」ヴラド三世は、大勢を串刺し処刑したことから「串刺し公」とも呼ばれました。シギショアの生家、ブカレストをはじめ、各地にゆかりある城跡が残っています。「吸血鬼ドラキュラ」は彼の行状を年代記で読んだアイルランドの作家、ブラム・ストーカーによるフィクションです。



わたしのルーマニア

ルーマニア×武蔵野×ヒト
—— 指揮者 曾我大介氏 ——

「音楽を通してルーマニアと武蔵野市の友好と平和の輪を広げて」



曾我 大介 (そが・だいすけ)

東京ニューシティ管弦楽団正指揮者。桐朋学園大、ブカレスト音楽大、ウィーン音楽大等で学び、ブザンソン、コンドラシンの二大国際指揮者コンクールで優勝。日本、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ねている。ルーマニアとは特に縁が深く、エネスコ・フィル、ルーマニア国立歌劇などに定期的に客演。2017年には、長年活動と共にしているブラショフ・フィル日本公演の指揮者を務めた。ブラショフ市及びブラジル・ロンドリーナ市名誉市民。



1991年、当時若き指揮者だった曾我さんは、ルーマニア革命直後で困窮していたブラショフの交響楽団を助けるため、無我夢中で各所に支援をお願いし、その熱い想いに心を動かされた武蔵野市と多摩4市が協力し、1992年交響楽団の来日が決まりました。市民からの寄付などを基に購入した楽器を手にしたときの楽団員の、こぼれんばかりの笑顔が、今でも忘れられないそうです。

26年前にスタートしたルーマニアと武蔵野市との交流は、2016年のホストタウン登録により、一つの転機を迎えました。昨年は25年ぶりに交響楽団の来日が実現し、曾我さんの指揮のもと、公募により選ばれた235名もの市民合唱団と共にベートーヴェンの友好と平和の《第九》の共演が叶いました。

曾我さんが27年前に蒔いてくださった友好の種は、「武蔵野ブラショフ市民の会」の皆さんや、「日本武蔵野センター」などの活動によって着実に育まれ、2020年に向けたたくさん笑顔の花を咲かせてくれるのではないのでしょうか。

曾我さんインタビュー

ルーマニアと日本のこれからに望むことは？

—— もっとお互いの理解を深めて、お互いに無いものを補い合えるような関係になれたらいいですね。お互いをよく知ることで、もっと色々な可能性も広がってくると思います。

ルーマニアの魅力を教えてください！

—— まず、人ですね！明るく、人情があるところ。日本に昔あった義理人情や情緒を感じさせてくれます。あとは、美しい自然。そして食べ物や美味しいところも素晴らしいです。

実は、曾我さんは料理も得意で、ルーマニア料理も手の物です！

インタビュー後記

曾我さんは本業の音楽だけでなく、言語、歴史、食べ物、ワイン…多くの引き出しをお持ちで、興味深い話は尽きません。今後も更なるご活躍をお祈りしています。(交流事業課 水上)

大募集

あなたの文章が「モモイロベリカン通信」の記事になる！

冬号締切り：11月5日

「わたしのルーマニア」では皆様からの寄稿記事を募集しています。内容は、ルーマニア旅行記、ルーマニアにまつわる思い出や体験、ハマっていることや「ルーマニアのここが好き!」という熱い思いなど何でもOK。あなたが語りたいことをぜひこの場でシェアしてませんか。500文字以内のエッセイ形式の記事原稿を、タイトル、お名前(ペンネーム可)、連絡先とともにメールでお送りください。冬号の締め切りは11月5日です。皆様のご寄稿をお待ちしております。▶送り先: 武蔵野市交流事業課 ▶メールアドレス: SEC-KORYU@city.musashino.lg.jp



ルーマニアホストタウンムサシノキャラクター紹介 NO.1

アレクサンドラ

ルーマニアブラショフ市在住。18歳。高校4年生。ブラショフ市にある日本武蔵野センターに通っていて、日本語を勉強している。日本のアニメや漫画が大好きで、友達と好きなキャラクターのコスプレをして遊んだり、YOUTUBEで探した日本のアイドルの踊りを練習している。いつか日本に行ってみたいと願っている。

Twitterのアカウントは、@Alexandra9mai だよ！フォローしてね！